

きんき七夕歌会、永観堂「青もみじ」八千代「湯とうふ」京都国際交流会館「歌会」



集合写真：上段左から、ほたるいかさだ・川原ゆう・こねこのこ・須賀知子・坂東和代・小林栄子・美雨・上田静子・平村幸子・桑本明枝・上田貴子・野田凜・霧香・城雅代・中島さなぎ・下段左から HIKARIKO・玉虫・二等流・黒田節子・いぶやん・小倉はじめ・西村康則（写真：川原ゆう）

七夕の一夜を 千夜と待ちわびて 一夜を千夜と契るけふ哉（正岡子規）

7月6日はきんきサロン恒例の七夕歌会でした。普段はなかなか会えない歌友さん達(神戸・大阪・奈良・枚方・京都)が遠方から駆けつけてくれました。(初対面の方々も結構いらっしゃいました) 歌の解釈や、ここが佳かったとのコメントが、新しい参加者が加わることで、そんななんだ！そういう解釈もできるんだ！きんきサロン通常歌会とは異なるコメント続出で、解釈の広がりや、物の見方などの違いもあり、こうまでなるかと、中身の濃い、楽しい時間を過ごさせていただきました。ご参加の皆様に心から御礼申し上げます。

歌会に先立つ今年の古刹拝観は永観堂で、回廊沿いの青紅葉や、みかえり阿弥陀ほかの靈験あらたかなる仏像の数々を拝見でき、清々しい気分になりリフレッシュ出来ました。昼食は南禅寺近くにある料亭「八千代」、名代の湯豆腐を堪能させていただきました。ロケーションも素晴らしいです。今回の企画、そして準備作業のほぼすべてを担って下さったN氏に感謝です。

インクライン側の京都国際交流会館での歌会の一席はいぶやん（身内が頂いたのは申し訳な

い気持ちですが…）、泰山木の薔を夢と展望ある表現でまとめ好評。二席は二名、一人は中島さなぎ氏、ロマンチックな歌の場面設定が共感を集めました、もう一人小倉はじめ氏、おだやかなタッチで高齢者に夢と希望を与える内容で好評。三席はこねこのこ氏、満たされた境地と心理の表現で共感を得ました。四席も二名、霧香氏はまさにタイムリーなお歌、爽やかなミントの味わいで票を獲得。かたや上田貴子氏、抑制の効いた大人のシブイ表現で都会を描き、参加者の心を掴みました。五席も二名、坂東和代氏は印象派の巨匠のゆかりの地名を入れて印象的でした。もうお一方野田凜氏、今歌会のサプライズ企画で、本部にお願いしての「のぶし賞」選出のダブル受賞でした。

のぶし様からは歌に対するコメントを賜っており、会場で披露されました（本稿では紙数の都合で割愛）。のぶし様、我々の無理メな要請に快く応えていただき、スタッフ一同心より感謝いたしております。本当にありがとうございました。

皆様、来年もまた、きんきサロン七夕歌会でお会いしましょう。 （いぶ記）

真つ青な空
原色の朝
さあ
雨傘を日傘に
かえて 夏！
霧香 21 点 同四

2
「青もみじ」の中
老若男女を敬遠し
鳥の声
姿も現さず
葉陰にひっそり
黒田節子 6 点

3
近づいて観て
筆の擦れから
モネの息遣いを聞き
離れて観て
ジヴェルニーの風を感じる
坂東和代 20 点 同五席

4
「お星様はいくつあるの」
天文学の数字で
答えてしまった
ユニバースな
七夕の夜なのに
西村康則 12 点

5
緑の空間を
緑が
支配している
風にひるがえる
スカーフ
玉虫 15 点

6
青もみじの散華
腕を広げるような
観音様の手の中へ
抱かれた途端
くるくる落ちる
二等流 16 点

7
幸福度は
80%くらいで良い
ちょっと足りない 20%は
どこかのだれかの
幸せの分
こねこのこ 22 点 三席

8
逆境のなかでも 絶対に
可哀想にと手を合わせられ
葬られるようなことにはしない
歯を食いしばって にかっと
口角上げる
桑本明枝 6 点

9
深呼吸を誘う
浅みどり 深緑
清しくて柔らかい
ここは
心のスポット
HIKARIKO 19 点

10
遠い昔
恋に恋したあの頃の
思い出今もそよそよと
誰かが手招きするような
青もみじ
小林栄子 11 点

11
辿り着いた岸辺に
あなたが
いなくとも
小さな流木を
拾い集めて待とう
中島さなぎ 24 点 同二席

世の中
変われば変わるもの
ずっと変わらずいてね
京都の自然
いついつまでも
上田静子 8 点

13
花咲く時は
ひとそれぞれ
下り坂で
花を
咲かす人もいる
小倉はじめ 24 点 同二席

14
織姫と彦星よろしく
一年に一度
誕生日に
メッセージが届く
星になるまで
須賀知子 11 点

15
65年ぶり
故郷の南線道路
その角を曲がれば私家(ち)
真っすぐ行ってむっちゃん家
も少し先に美津江ちゃん家
城雅代 14 点

16
手本無く生きた
私の背を見つめ
何を思うか
君の腕には
赤い薔薇
美雨 10 点

17
道端に並んでそよぐ
黄色の花たち
なぜ君たちはこの色を
選んだの？
そっと教えてくれないか
ほたるいかさだ 16 点

18
赤色超巨星となった
ベテルギウス
すでに消滅している
かも知れない
600 年前の星に願いをかける
川原ゆう 10 点

19
地域の映画会とはいえ
ヘルメットは
脱いで欲しいし
静かに
観て欲しい
平村幸子 11 点

20
白い鳥が丸まって
眠っているかのよう
泰山木の薔
羽を広げれば
飛び立つか
いぶやん 28 点 一席

21
苦い思いを
噛みしめたまま
賑やかな
都会の終電に
乗る
上田貴子 21 点 同四席

22
人生に
遠回りなんて
ないんだな
あとから思うと
いちばんの収穫期
野田凜 20 点 同五席 & のぶし賞

■8月歌会は、8月3日(日)13時～ ウイングス京都です。